

らを基盤として、連携することによって相乗効果を生み出せるよう、各大学の研究と補完の場を提供することが、以前にもまして重要になってきております。何十年も前の先輩の大先生方が設立してくれた財団法人を受け継ぐのみならず、新しい時代にふさわしい組織作りを目指していく所存であります。

このため、TCERでは昨年度に引き続き、今年度は次のような重点課題に取り組みます。

- (1) Working Paper の電子版の公開。昨年度から開始された Working Paper シリーズを充実させ、さらには皆様の各大学で発行している Working Paper の電子版を TCER のネット上でも公開することによって、TCER のホームページを見れば、自分の関心ある研究分野の Working Paper にすべてアクセスできるようにしていきたいと考えております。このためには、昨年度、お引き受けいただいた各分野の Working Paper 編集員の皆様に、質量ともに豊富な論文を掲載いただくようご尽力いただかなければなりません。
- (2) 独自ウェブサイトの新設。
- (3) TCER の分野別研究会の復活。

このほかにも、TCER に行って欲しいという要望があれば、どしどしご意見をお寄せください。先輩方のご尽力により、経済的に多少は安定してきており、是非、皆さんに活用される TCER にしていきたいと考えております。

正直申し上げて、私自身、これまで熱心な会員であったとはいえません。3年前に次期代表理事候補として理事を引き受けるように要請があったときにも、はたして何をやったらよいのか、そして自分で勤まるのかどうか、不安でお断りしようとも考えましたが、諸先輩の残してくれたすばらしい組織を次の世代に伝えていくのもわれわれの役目だと考えしき受けさせていただきました。逆に不真面目な会員であっただけに、その分、一般会員の皆さんの気持ちが分かっているつもりです。TCER が少しでも皆様の身近な、そしてメリットの大きい存在になればと考え、努力していく所存でございますので、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

(2) 2004年度理事紹介

2004年度の理事は以下のように決まりました。各理事のメールアドレスはTCERのサイトに掲載されております。(敬称略)

代表理事

樋口 美雄 (慶応義塾大学商学部) 樋口美雄

副代表理事・渉外担当

伊藤 隆敏 (東京大学先端科学技術研究センター)

代表理事代理、総務(ホームページ担当)

木村 福成 (慶應義塾大学経済学部)

国際活動担当

西村 清彦 (東京大学大学院経済学研究科)

企画担当

小川 英治 (一橋大学大学院商学研究科)

企画担当

浦田 秀次郎 (早稲田大学社会科学部)

総務担当

吉原 直毅 (一橋大学経済研究所)

会計・研究会担当

土居 丈朗 (慶應義塾大学経済学部)

総務(報告書担当)

塩路 悦朗 (横浜国立大学経済学部)

総務(ニュースレター、名簿担当)

玉田 康成 (慶應義塾大学経済学部)

(3) 2004年度総会報告

2004年度の総会は4月9日(金)16:45より慶應義塾大学三田キャンパス第1校舎108番教室にて行われました。平成15年度収支報告、平成16年度予算の提案、承認などが行われました。

2.TCER 研究会

2004年度のTCER定例研究会は慶應義塾大学にて行われます。(敬称略。)

日時：2004年4月9日(金) 午後2:45-4:15

報告者：土居 丈朗 (慶應義塾大学経済学部)

題名：“Government Financial Institutions: What should the Japanese government reform?”

場所：慶應義塾大学第1校舎108教室

日時：2004年4月16日(金) 午後4:30-6:00

報告者：西山 慎一 (日本銀行金融研究所)

題名：“Inflation Target as a Buffer against Liquidity Trap”

場所：慶應義塾大学第1校舎108教室

日時：2004年4月30日(金) 午後4:30-6:00

報告者：木村 福成 (慶應義塾大学経済学部)

題名：“The Formation of International Production/Distribution Networks in East Asia and Latin America: What Can FTAA Do”

場所：慶應義塾大学第1校舎108教室

日時：2004年5月7日(金) 午後4:30-6:00
報告者：細野 薫(学習院大学)
題名：“Bank Regulation and Market Discipline around the World”
場所：慶應義塾大学第1校舎108教室

日時：2004年5月14日(金) 午後4:30-6:00
報告者：Radha Balkaransingh(筑波大学)
題名：“Causality and the Impact of a Shock to Public Infrastructure Spending in Japan”
場所：慶應義塾大学第1校舎108教室

日時：2004年5月21日(金) 午後4:30-6:00
報告者：芝田 隆志(横浜国立大学)
題名：“Real Options in a Duopoly Market with General Volatility Structure”
場所：慶應義塾大学第1校舎108教室

日時：2004年5月28日(金) 午後4:30-6:00
報告者：石田 潤一郎(信州大学)
題名：“Collaboration under Weak Complementarities”
場所：慶應義塾大学第1校舎108教室

日時：2004年6月4日(金) 午後4:30-6:00
報告者：向山 敏彦(Concordia University)
題名：“Heterogeneous Costs of Business Cycles with Incomplete Markets”
場所：慶應義塾大学第1校舎108教室

日時：2004年6月11日(金) 午後4:30-6:00
報告者：絹川 真哉(Concordia University)
題名：“Did the U.S. Patent Reforms in the 1980s Give High-tech Firms Opportunity, Difficulty, or Nothing? An Empirical Study”
場所：慶應義塾大学第1校舎108教室

日時：2004年6月18日(金) 午後4:30-6:00
報告者：福島 淑彦(名古屋商科大学)
題名：“Active Labour Market Programmes and Unemployment in a Dual Labour Market”
場所：慶應義塾大学第1校舎108教室

日時：2004年6月22日（火） 午後4:00-6:00
報告者：Masanori Hashimoto（Ohio State University）
題名：“ Effects of Maternity Leave Coverage on Women's Labor Market Outcomes ”
場所：東館5階プロジェクト室3

日時：2004年6月25日（金） 午後4:30-6:00
報告者：田中 隆一（New York University, 6月から大阪大学）
題名：“ On the Costs and Benefits of a Mixed Educational System ”
場所：慶應義塾大学第1校舎108教室

日時：2004年6月22日（火） 午後4:00-6:00
報告者：山口 一男（University of Chicago）
題名：“ パネルデータの回帰分析に潜在クラスを導入する三つの異なる方法のそれぞれの長所と短所について：政権支持安定度の分析への応用 ”
場所：東館5階プロジェクト室3

日時：2004年7月9日（金） 午後4:30-6:00
報告者：高橋 青天（明治学院大学）
題名：“ Measuring capital Intensity in the Postwar Japanese Economy - A Two-sector Approach - ”
場所：慶應義塾大学第1校舎108教室

日時：2004年7月16日（金） 午後2:45-4:15
報告者：吉野 直行（慶應義塾大学）
題名：“ Optimal Exchange Rate System in Two Countries with the Rest of the World ”
“ The basket-peg, dollar-peg, and floating: A comparative analysis ”
場所：慶應義塾大学第1校舎108教室

日時：2004年7月16日（金） 午後4:30-6:00
報告者：後藤 宇生（北九州市立大学）
題名：“ Strategic Firm Behavior in the Japanese Oil Industry ”
場所：慶應義塾大学第1校舎108教室

編集後記

2004 年度 1 号目のニューズレターをお送りいたします。例年よりやや発行が遅れましたことをお詫び申し上げます。

Newsletter に関するご意見や感想は、代表理事 樋口美雄 higuchi@fbc.keio.ac.jp，または総務理事 玉田康成 tamada@econ.keio.ac.jp までご連絡下さい。